

# 第 2 3 号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備)

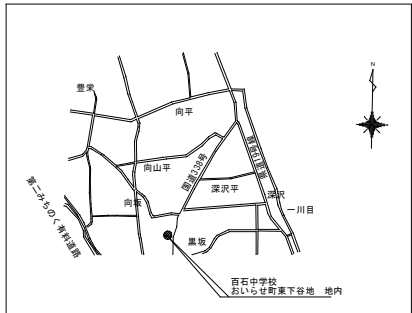
機 械 設 備 工 事					
図面番号	図面リスト	縮 尺	図面番号	図面リスト	縮 尺
M - 0 1	機械設備工事特記仕様書 ( 1 )	——	M - 1 6	天井改修 1 階平面図	1 : 2 0 0
M - 0 2	機械設備工事特記仕様書 ( 2 )	——	M - 1 7	天井改修 2 階平面図	1 : 2 0 0
M - 0 3	機械設備工事特記仕様書 ( 3 )	——	M - 1 8	天井改修 3 階平面図	1 : 2 0 0
M - 0 4	案内図・配置図	1 : 5 0 0	M - 1 9	仮設足場 立面図 ( 参考図 )	1 : 2 0 0
M - 0 5	全体平面図	1 : 2 0 0	M - 2 0	仮設足場 平面図 ( 参考図 )	1 : 2 0 0
M - 0 6	機器表	——	E - 0 1	電気設備工事特記仕様書 ( 1 )	——
M - 0 7	空調設備 1 階平面図	1 : 1 0 0	E - 0 2	電気設備工事特記仕様書 ( 2 )	——
M - 0 8	空調設備 2 階平面図	1 : 1 0 0	E - 0 3	構内配電経路図	1 : 2 0 0
M - 0 9	空調設備 3 階平面図	1 : 1 0 0	E - 0 4	動力電源盤結線図	——
M - 1 0	部分詳細図 ( 参考図 )	——	E - 0 5	動力設備図	1 : 2 0 0
M - 1 1	室外機基礎詳細図 ( 参考図 )	1 : 3 0			
M - 1 2	自動制御設備 系統図	——			
M - 1 3	1 階平面図 自動制御設備	1 : 1 0 0			
M - 1 4	2 階平面図 自動制御設備	1 : 1 0 0			
M - 1 5	3 階平面図 自動制御設備	1 : 1 0 0			



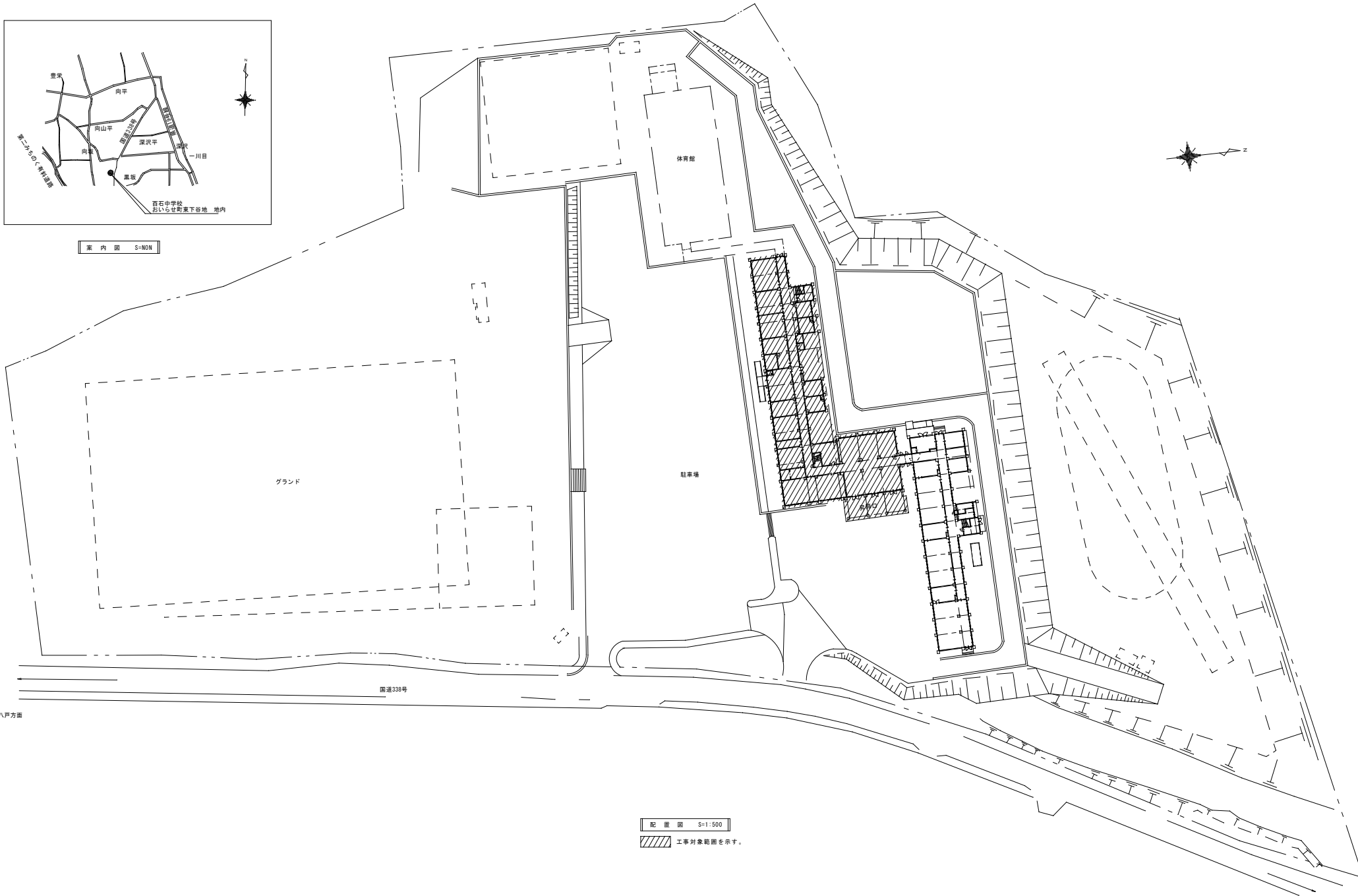
承認	担当	監固	第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備)	参考	A1: —	M-02
			機械設備工事特記仕様書(2)		A3: —	

※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する

M-03



案内図 S=NON



至ル 八戸方面

配置図 S=1:500

工事対象範囲を示す。

至ル 三沢方面

承認	担当	製図

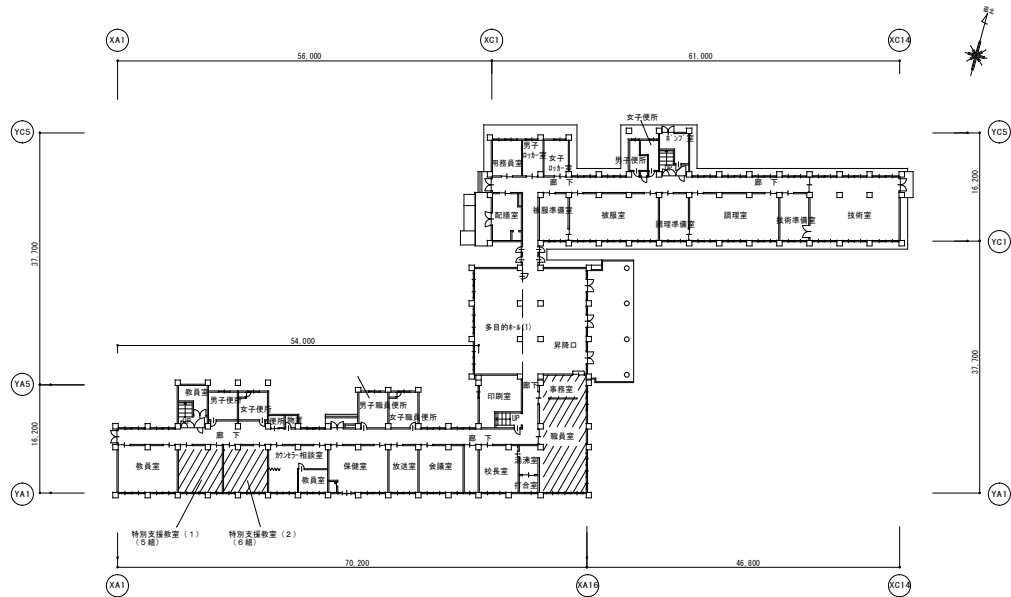
第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備)

案内・配置図

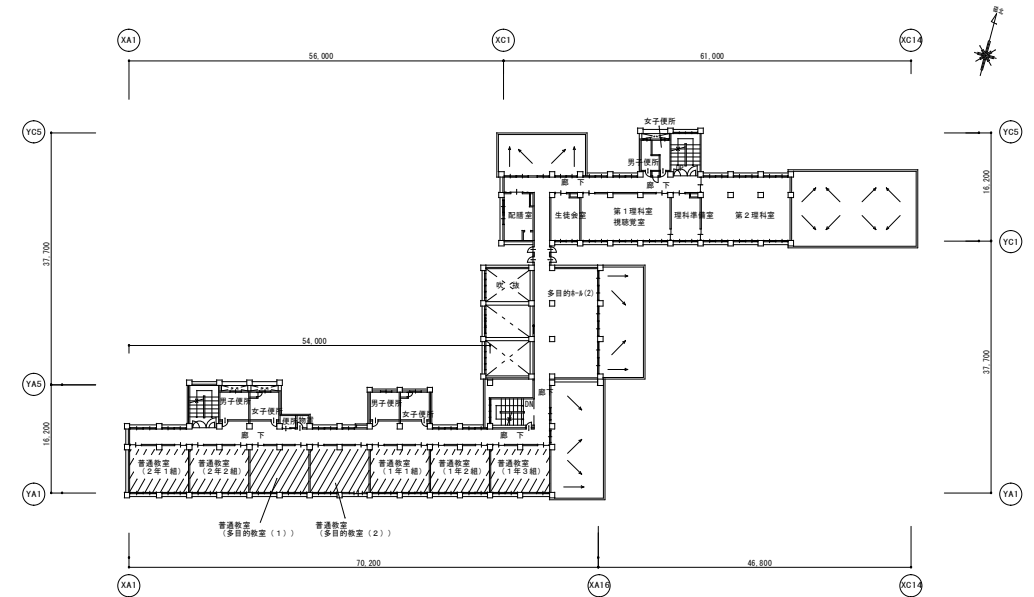
A1:1/500

A3:1/1000

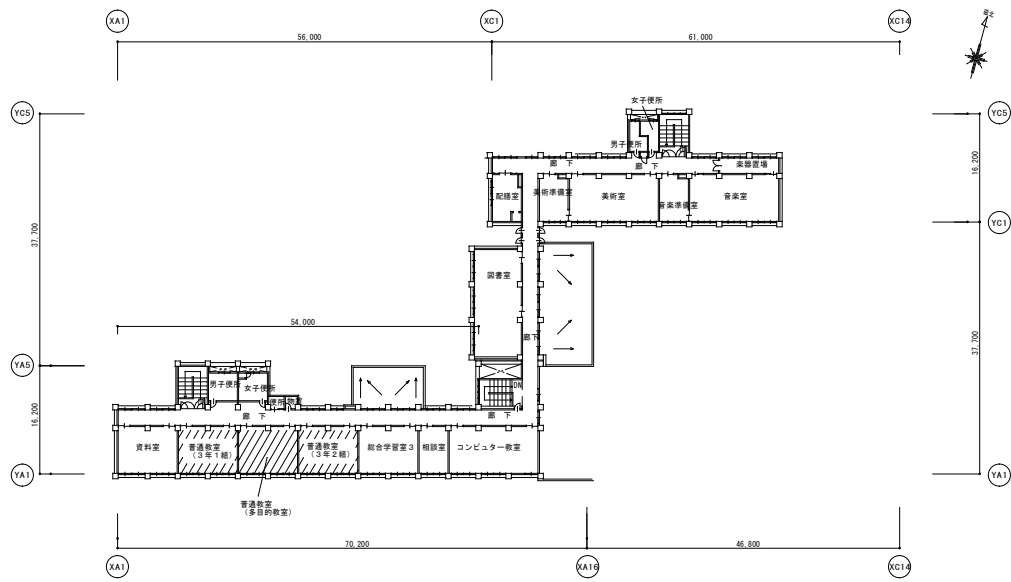
M-04



1 階 平面図



2 階 平面図



3 階 平面図

共通事項  
は、エアコン設置対象室を示す

承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備)  
全体平面図

A1:1/400  
A3:1/800

空気調和設備機器一覧表

記 号	機 器 名	仕 様	電 気 仕 様	室 名	台 数	備 考
ACP-1	空気熱源ヒートポンプ パッケージ型空気調和機	型 式 : EHPマルチ 冷房能力: 20.0 kW (最大22.4 kW) 暖房能力: — kW 付属品 : 架台・防雪屋根一式	3φ×200V 圧縮機 4.39 kW 送風機 0.15 kW x 2	屋 外	1	夏期:室内 28.0℃(DB)
ACP-1-1		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 7.1 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.095kW	1F 職員室	2	
ACP-1-2		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 4.5 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.09kW	1F 事務室	1	
ACP-2	空気熱源ヒートポンプ パッケージ型空気調和機	型 式 : EHPマルチ 冷房能力: 25.0 kW (最大28.0 kW) 暖房能力: — kW 付属品 : 架台・防雪屋根一式	3φ×200V 圧縮機 6.35 kW 送風機 0.20 kW x 2	屋 外	1	夏期:室内 28.0℃(DB)
ACP-2-1		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 5.6 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.09kW	1F 特別支援教室 (2) (6組)	1	
ACP-2-2		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 5.6 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.09kW	1F 特別支援教室 (1) (5組)	1	
ACP-2-3		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.16kW	2F 普通教室 (2年1組)	1	
ACP-3	空気熱源ヒートポンプ パッケージ型空気調和機	型 式 : EHPマルチ 冷房能力: 25.0 kW (最大28.0 kW) 暖房能力: — kW 付属品 : 架台・防雪屋根一式	3φ×200V 圧縮機 6.35 kW 送風機 0.20 kW x 2	屋 外	1	夏期:室内 28.0℃(DB)
ACP-3-1		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.16kW	2F 普通教室 (多目的教室 (1))	1	
ACP-3-2		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.16kW	2F 普通教室 (2年2組)	1	
ACP-4	空気熱源ヒートポンプ パッケージ型空気調和機	型 式 : EHPマルチ 冷房能力: 25.0 kW (最大28.0 kW) 暖房能力: — kW 付属品 : 架台・防雪屋根一式	3φ×200V 圧縮機 6.35 kW 送風機 0.20 kW x 2	屋 外	1	夏期:室内 28.0℃(DB)
ACP-4-1		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.16kW	2F 普通教室 (1年1組)	1	
ACP-4-2		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.16kW	2F 普通教室 (多目的教室 (2))	1	

空気調和設備機器一覧表

記 号	機 器 名	仕 様	電 気 仕 様	室 名	台 数	備 考
ACP-5	空気熱源ヒートポンプ パッケージ型空気調和機	型 式 : EHPマルチ 冷房能力: 25.0 kW (最大28.0 kW) 暖房能力: — kW 付属品 : 架台・防雪屋根一式	3φ×200V 圧縮機 6.35 kW 送風機 0.20 kW x 2	屋 外	1	夏期:室内 28.0℃(DB)
ACP-5-1		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.16kW	2F 普通教室 (1年3組)	1	
ACP-5-2		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.16kW	2F 普通教室 (1年2組)	1	
ACP-6	空気熱源ヒートポンプ パッケージ型空気調和機	型 式 : セバレット・天吊露出型 冷房能力: 12.5 kW (最大14.0 kW) 暖房能力: — kW 付属品 : 架台・防雪屋根一式 ワイヤレスリモコン・防振吊金具	3φ×200V 圧縮機 2.8kW 送風機 0.060kW x 2 「室内機」 送風機 0.160kW	屋 外 「室外機」 3F 普通教室 (3年1組) 「室内機」	1	夏期:室内 28.0℃(DB)
ACP-7	空気熱源ヒートポンプ パッケージ型空気調和機	型 式 : EHPマルチ 冷房能力: 25.0 kW (最大28.0 kW) 暖房能力: — kW 付属品 : 架台・防雪屋根一式	3φ×200V 圧縮機 6.35 kW 送風機 0.20 kW x 2	屋 外	1	夏期:室内 28.0℃(DB)
ACP-7-1		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.16kW	3F 普通教室 (3年2組)	1	
ACP-7-2		型 式 : 天吊露出型 冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: — kW 付属品 : ワイヤレスリモコン・防振吊金具	1φ×200V×0.16kW	3F 普通教室 (多目的教室)	1	
SC1	空気熱源ヒートポンプ パッケージ型空気調和機 用集アリモコン	型 式 : 集中コントローラー (液晶タッチタイプ) 対象室 : 14 室 排気台数 : 15 台 (室内機) 制御項目 : 自動制御系統図参照	1φ×100V	職員室	1	

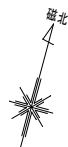
※ 1. 表中の電気容量は参考値。(SOSH)  
2. 付属品等は特記の他、メーカー標準仕様による。  
3. 機種の選定は同一メーカーとすること。  
4. 表中の能力はJIS条件及び冷媒配管長高低差に依る補正後の定格能力を示す。  
5. グリーン購入法適合品とする。

承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備) 参 考  
機器表

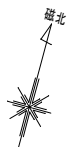
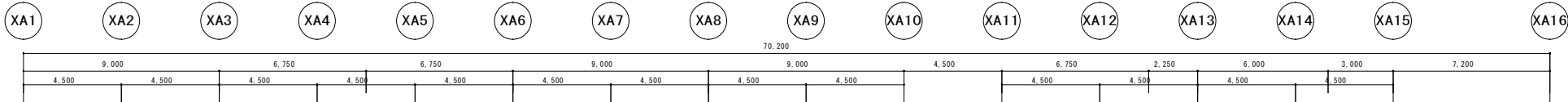
A1: —  
A3: —

M-06



M-07



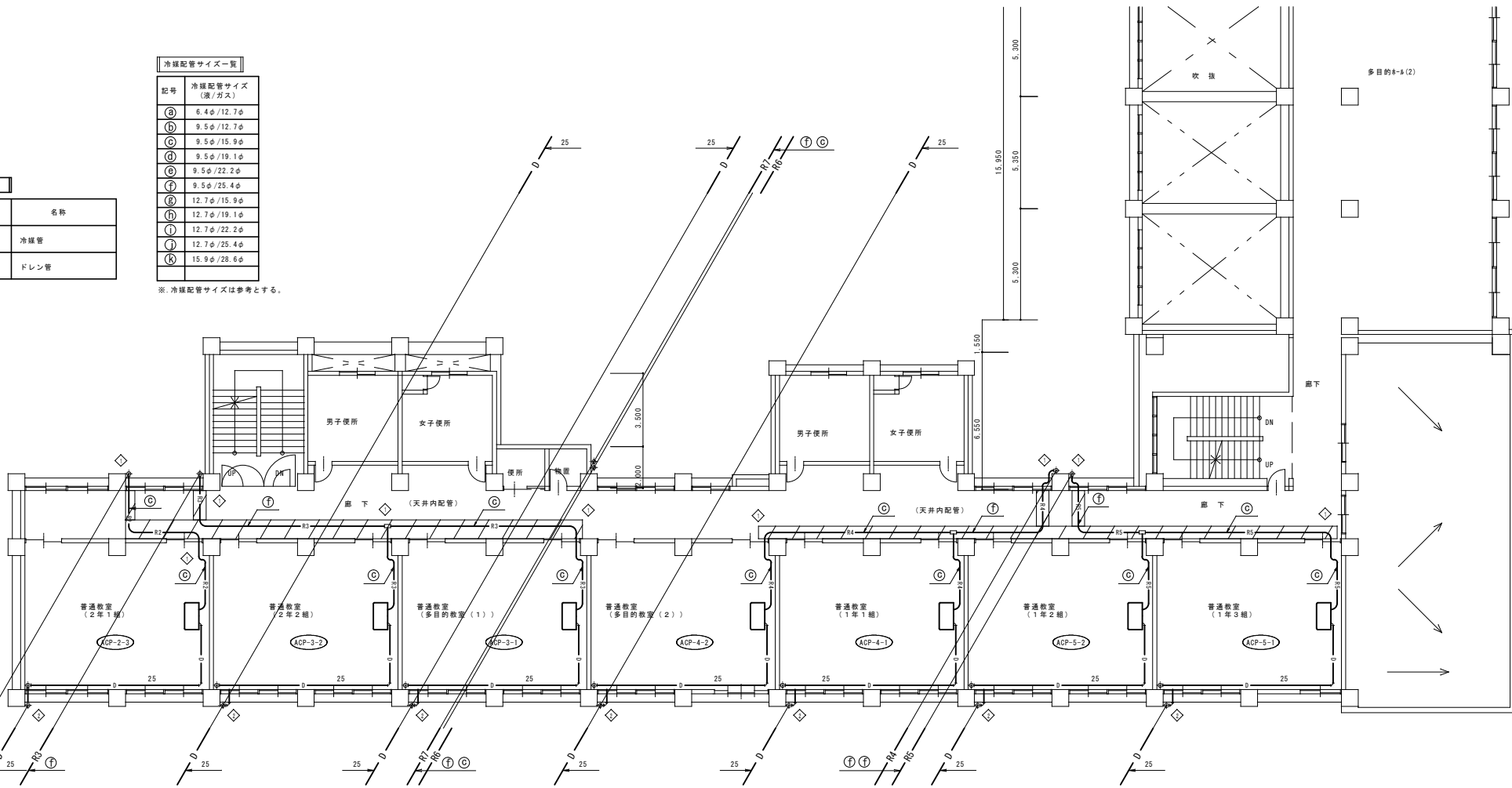


冷暖配管サイズ一覧

記号	冷暖配管サイズ (液/ガス)
(a)	6.4φ/12.7φ
(b)	9.5φ/12.7φ
(c)	9.5φ/15.9φ
(d)	9.5φ/19.1φ
(e)	9.5φ/22.2φ
(f)	9.5φ/25.4φ
(g)	12.7φ/15.9φ
(h)	12.7φ/19.1φ
(i)	12.7φ/22.2φ
(j)	12.7φ/25.4φ
(k)	15.9φ/28.6φ

※ 冷暖配管サイズは参考とする。

凡 例	
記号	名称
— R —	冷暖管
— D —	ドレン管



2 階 平面図

は天井内配管を示す

コア抜き一覧表

記号	管径	コア径	長さ	備 考
◇	----	88φ	150L	冷暖 (壁面)
◇	25A	63φ	150L	ドレン (壁面)

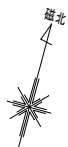
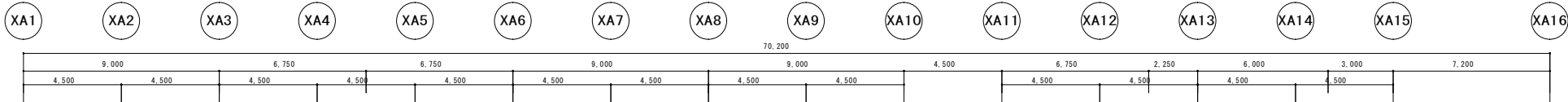
承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備)  
空調設備 2 階平面図

参考

A1:1/100  
A3:1/200

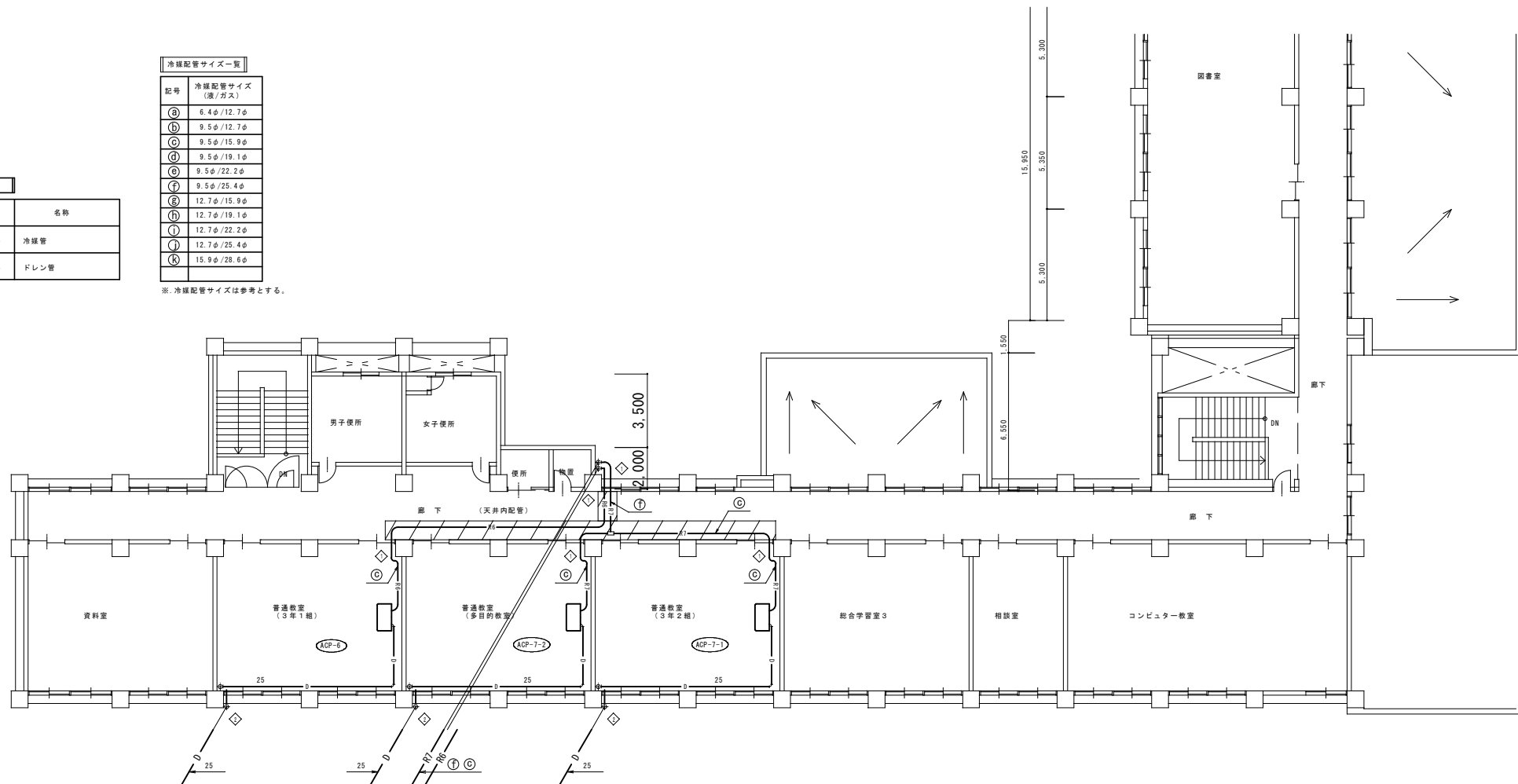
M-08



凡 例	
記号	名称
— R —	冷暖管
— D —	ドレン管

冷暖配管サイズ一覧	
記号	冷暖配管サイズ (液/ガス)
(a)	6.4φ/12.7φ
(b)	9.5φ/12.7φ
(c)	9.5φ/15.9φ
(d)	9.5φ/19.1φ
(e)	9.5φ/22.2φ
(f)	9.5φ/25.4φ
(g)	12.7φ/15.9φ
(h)	12.7φ/19.1φ
(i)	12.7φ/22.2φ
(j)	12.7φ/25.4φ
(k)	15.9φ/28.6φ

※ 冷暖配管サイズは参考とする。



3 階 平面図

は天井内配管を示す

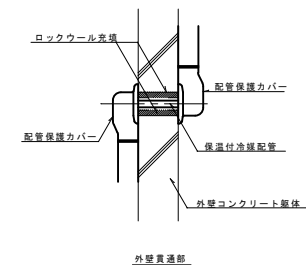
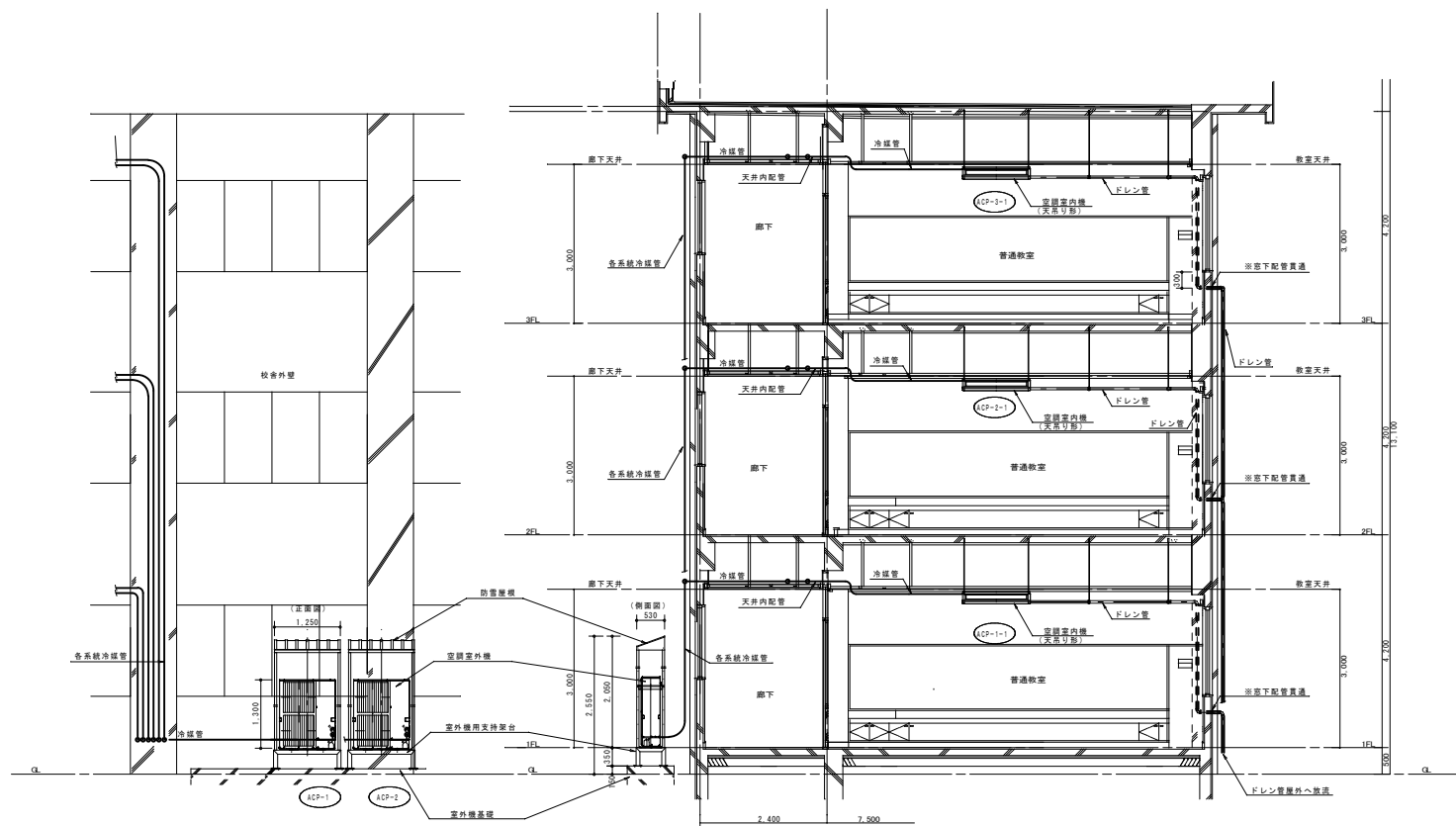
コア抜き一覧表				
記号	管径	コア径	長さ	備考
◇	----	88φ	150L	冷暖 (壁面)
◇	25A	63φ	150L	ドレン (壁面)

承認	担当	製図

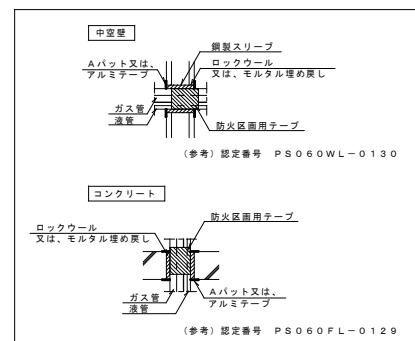
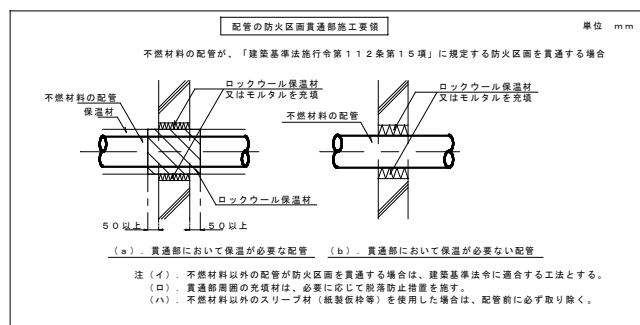
第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備) 参考  
空調調和設備 3 階平面図

A1:1/100  
A3:1/200

M-09



配管貫通部詳細図 S=NON



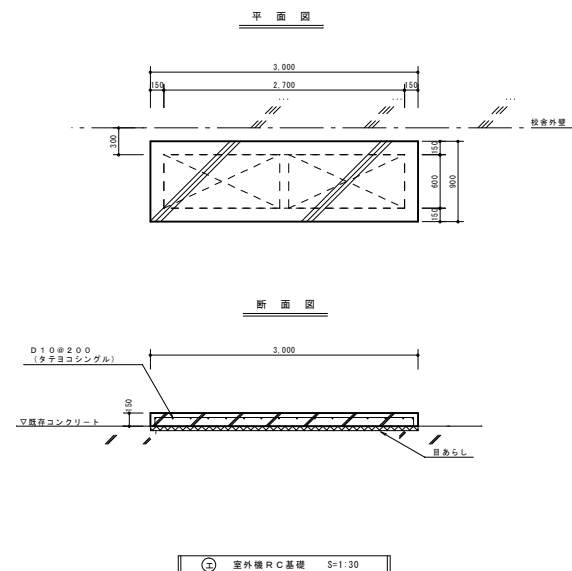
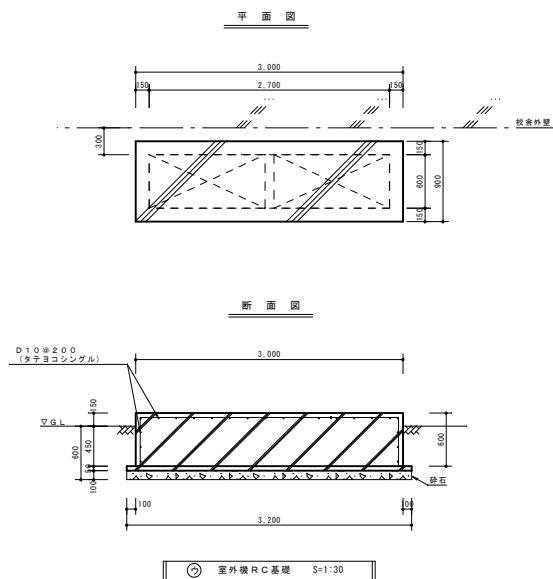
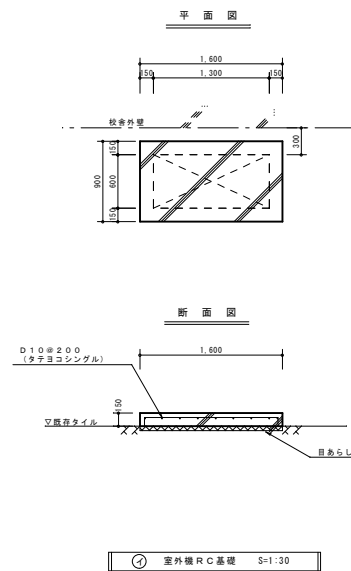
承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備)  
部分詳細図(参考図)

参考

A1: -  
A3: -

M-10



承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備)  
室外機基礎詳細図(参考図)

参考

A1:1/30  
A3:1/60

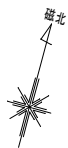
M-11



XA1 XA2 XA3 XA4 XA5 XA6 XA7 XA8 XA9 XA10 XA11 XA12 XA13 XA14 XA15 XA16

70,200

9,000 6,750 6,750 9,000 9,000 4,500 6,750 2,250 6,000 3,000 7,200  
4,500 4,500 4,500 4,500 4,500 4,500 4,500 4,500 4,500 4,500 4,500 4,500



記号凡例

平面図記号	内 容
---	天井隠蔽配線 (コロガシ)
---	屋外露出配線 (管内)
---	露出配線
---	冷暖配管共巻配線
□	プルボックス (特記の無いものは電気設備工事)

＜特記＞

・室内機～室外機の連結配線は冷暖配管共巻とする。

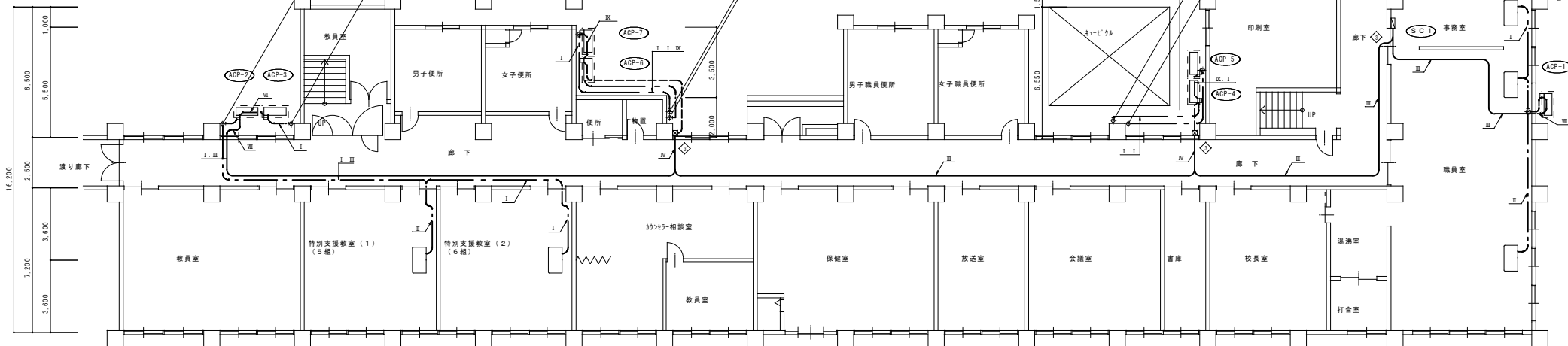
YA5

YA4

YA3

YA2

YA1



1 階平面図 自動制御設備

※：図中の ★ は防火区画船形 (E19) を示す。

-I-	EM-CEES2 □-2C	冷暖管共巻室内機～室外機連結配線
-II-	EM-CEES2 □-2C × 2	冷暖管共巻室内機～室外機連結配線
-III-	EM-CEES1.25 □-2C	(コロガシ) SC-1

-IV-	EM-CEES1.25 □-2C × 2	(コロガシ) SC-1
-V-	EM-CEES1.25 □-2C × 3	(コロガシ) SC-1
-VI-	EM-CEES1.25 □-2C	(G 2 2) SC-1

-VII-	EM-CEES1.25 □-2C × 2	(G 2 2) SC-1
-VIII-	EM-CEES1.25 □-2C	冷暖管共巻 SC-1
-IX-	EM-CEES1.25 □-2C × 2	冷暖管共巻 SC-1

コア抜き一覧表

記 号	管径	コア径	長さ	備 考
①	----	88φ	150L	冷媒（壁面）
②	25A	63φ	150L	ドレン（壁面）
③	----	50φ	150L	S C 1

承認	担当	製図

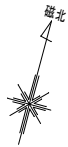
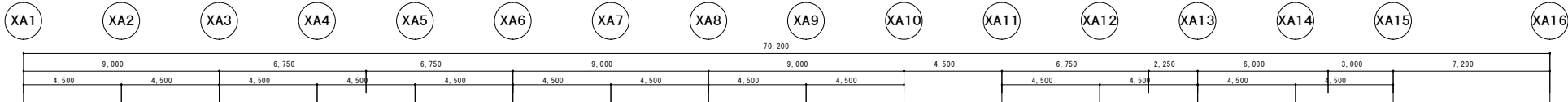
第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備) 参考

1 階平面図 自動制御設備

A1:1/100

A3:1/200

M-13



記号凡例	
平面図記号	内 容
—	天井隠蔽配線 (コロガシ)
—	屋外露出配線 (管内)
- - -	露出配線
—	冷暖配管共巻配線
■	プルボックス (特記の無いものは電気設備工事)

- I -	
EW-DEES2□-2C	冷暖管共巻室内機～室外機連絡配線
- II -	
EW-DEES2□-2C × 2	冷暖管共巻室内機～室外機連絡配線

＜特記＞  
・室内機～室外機の連絡配線は冷暖配管共巻とする。

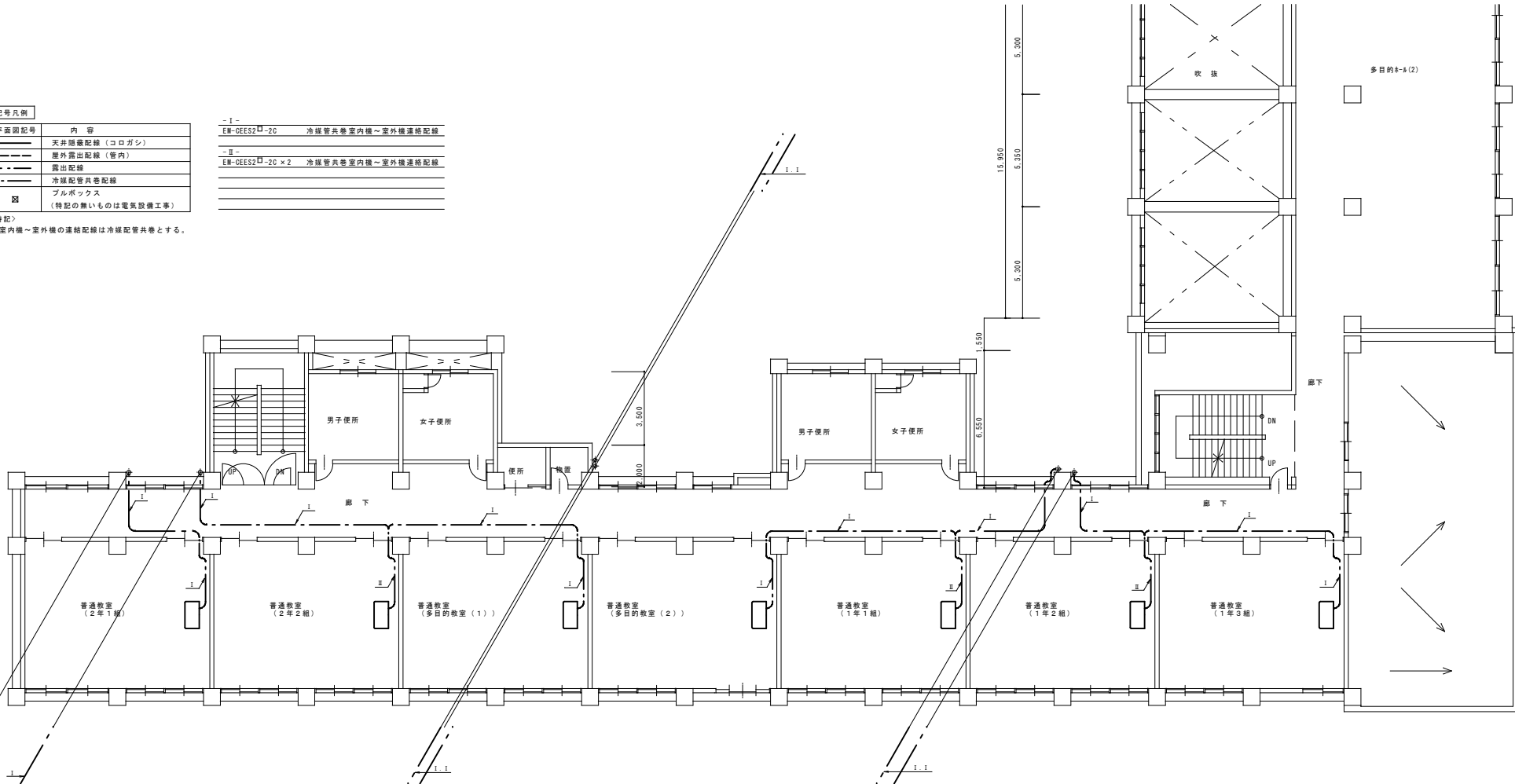
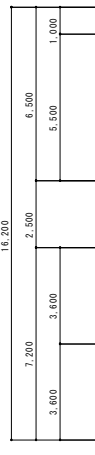
YA5

YA4

YA3

YA2

YA1

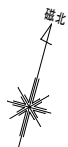
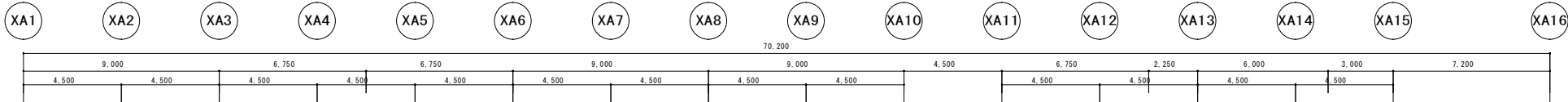


2 階平面図 自動制御設備

承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備) 参考  
2 階平面図 自動制御設備

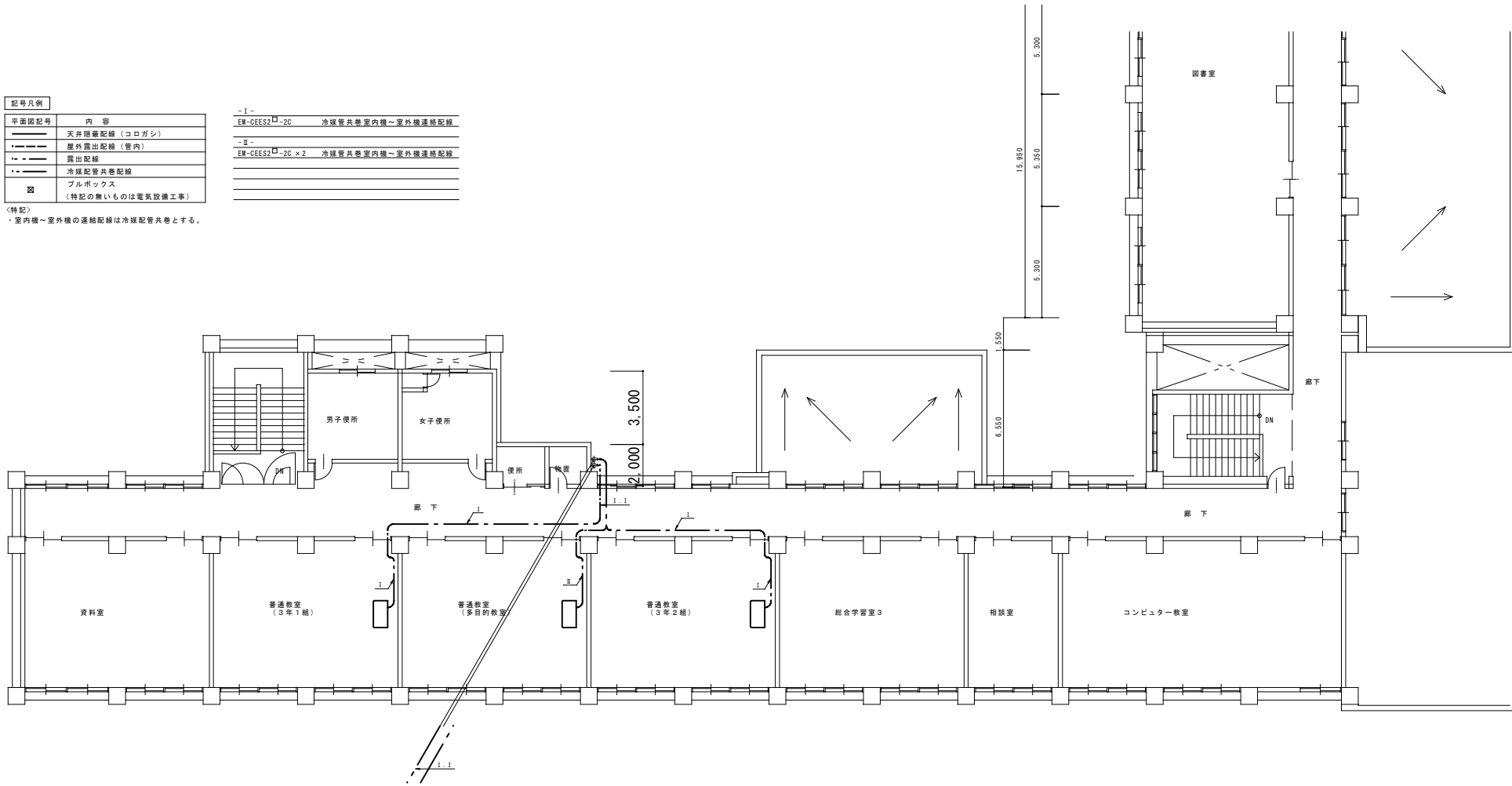
A1:1/100  
A3:1/200



記号凡例	
平面図記号	内 容
—	天井隠蔽配線 (コロガシ)
┌──┐	屋外露出配線 (管内)
┌──┐	露出配線
---	冷暖配管共巻配線
□	プルボックス
⊠	(特記の無いものは電気設備工事)

<特記>  
・室内機～室外機の接続配線は冷暖配管共巻とする。

- I -	EW-CDE52□-20 冷暖配管共巻室内機～室外機接続配線
- II -	EW-CDE52□-20 × 2 冷暖配管共巻室内機～室外機接続配線



3階平面図 自動制御設備

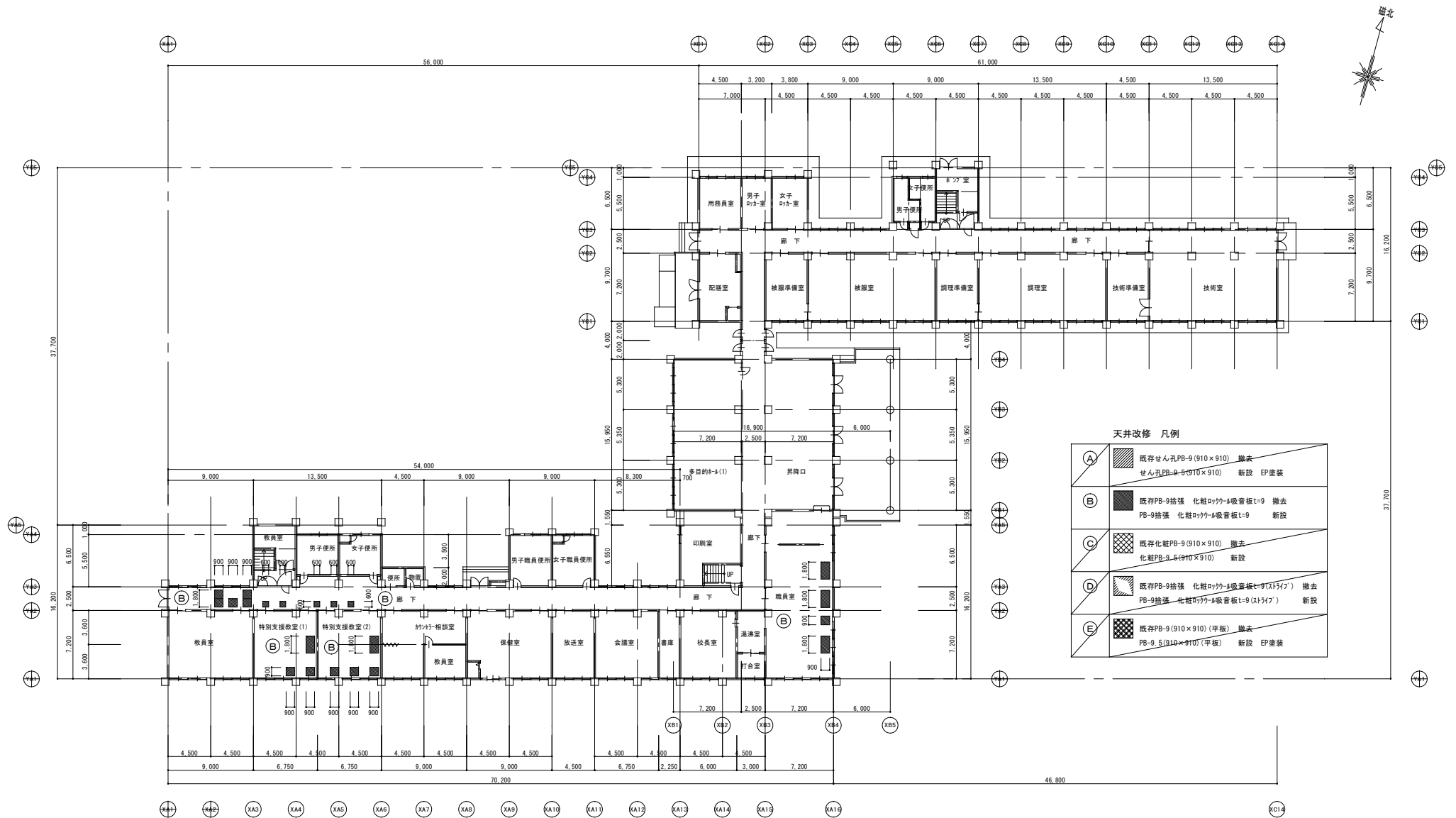
承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備) 参考  
3階平面図 自動制御設備

A1:1/100  
A3:1/200

M-15



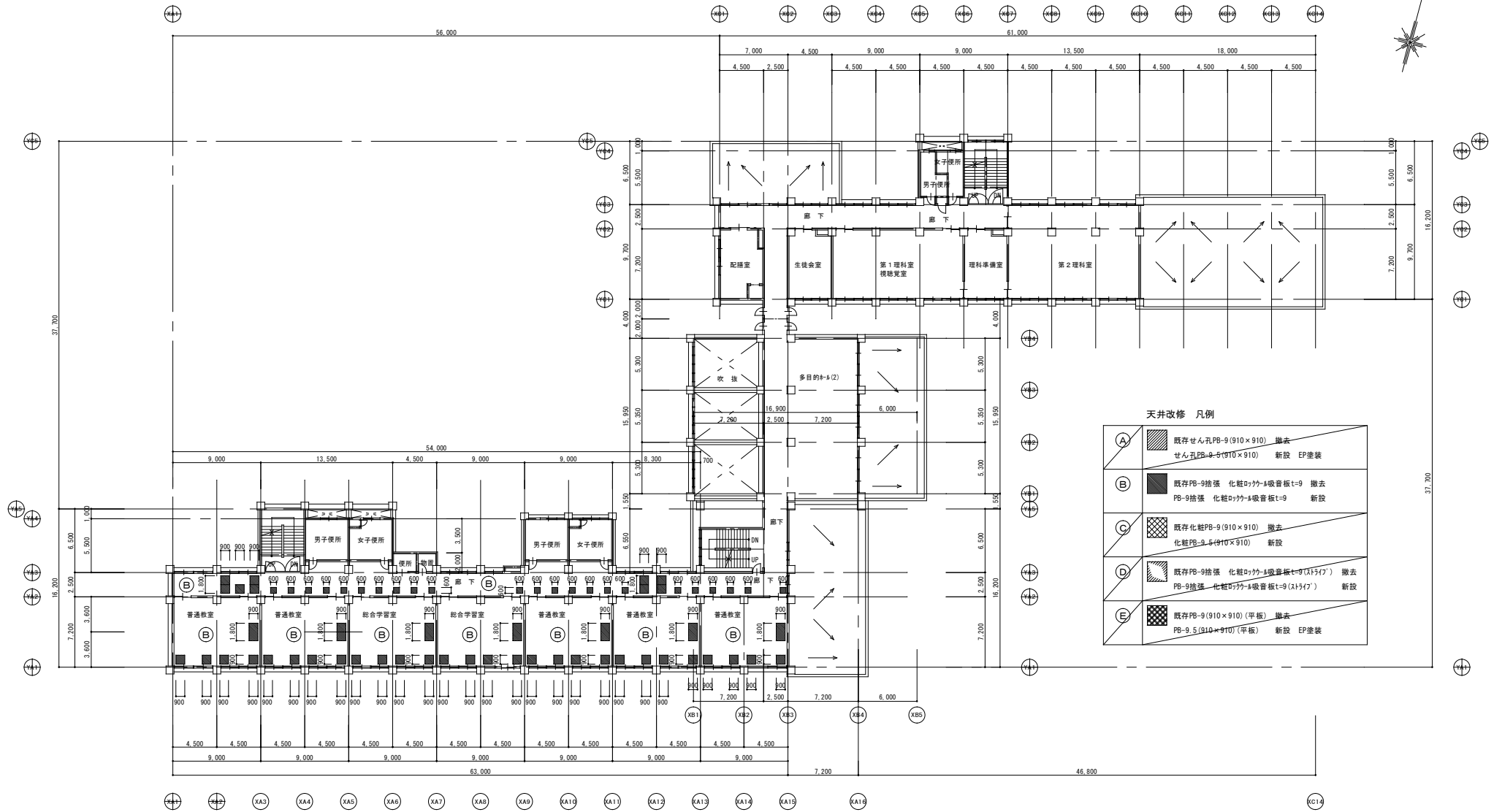


承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備) 参考  
天井改修 1階平面図

A1:1/200  
A3:1/400

M-16

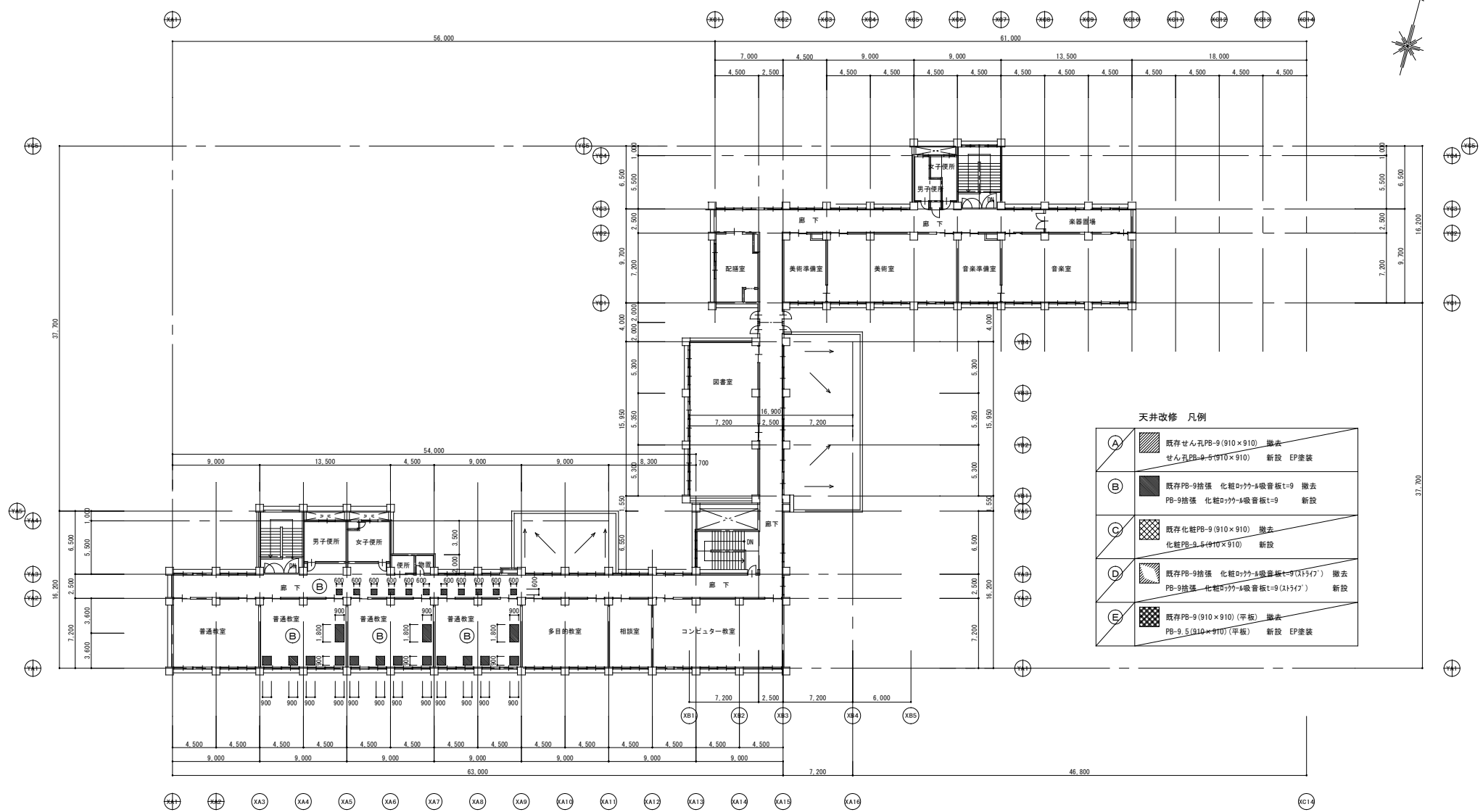
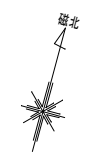


天井改修 凡例	
(A)	既存せん孔PB-9(910×910) 撤去 せん孔PB-9.5(910×910) 新設 EP塗装
(B)	既存PB-9捨張 化粧ワック-8吸音板t=9 撤去 PB-9捨張 化粧ワック-8吸音板t=9 新設
(C)	既存化粧PB-9(910×910) 撤去 化粧PB-9.5(910×910) 新設
(D)	既存PB-9捨張 化粧ワック-8吸音板t=9(ｽﾄﾗｲﾌﾞ) 撤去 PB-9捨張 化粧ワック-8吸音板t=9(ｽﾄﾗｲﾌﾞ) 新設
(E)	既存PB-9(910×910)(平板) 撤去 PB-9.5(910×910)(平板) 新設 EP塗装

承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備) 参考  
天井改修 2階平面図

A1:1/200  
A3:1/400

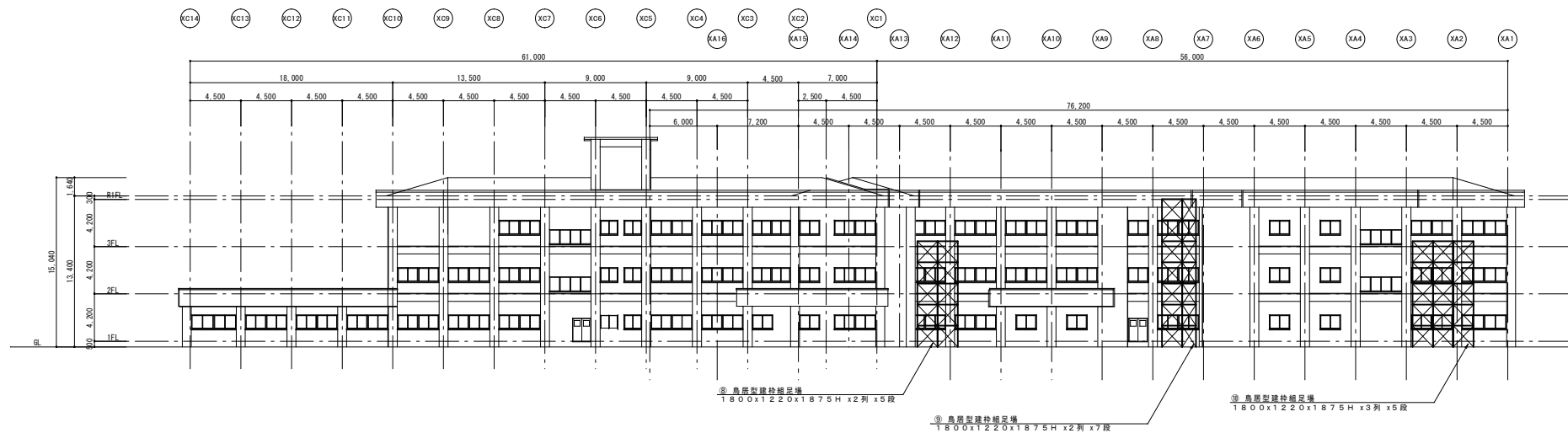


天井改修 凡例	
(A)	既存せん孔PB-9 (910×910) 撤去 せん孔PB-9.5 (910×910) 新設 EP塗装
(B)	既存PB-9捨張 化粧ロウカ-4吸音板t=9 撤去 PB-9捨張 化粧ロウカ-4吸音板t=9 新設
(C)	既存化粧PB-9 (910×910) 撤去 化粧PB-9.5 (910×910) 新設
(D)	既存PB-9捨張 化粧ロウカ-4吸音板t=9 (スライア) 撤去 PB-9捨張 化粧ロウカ-4吸音板t=9 (スライア) 新設
(E)	既存PB-9 (910×910) (平板) 撤去 PB-9.5 (910×910) (平板) 新設 EP塗装

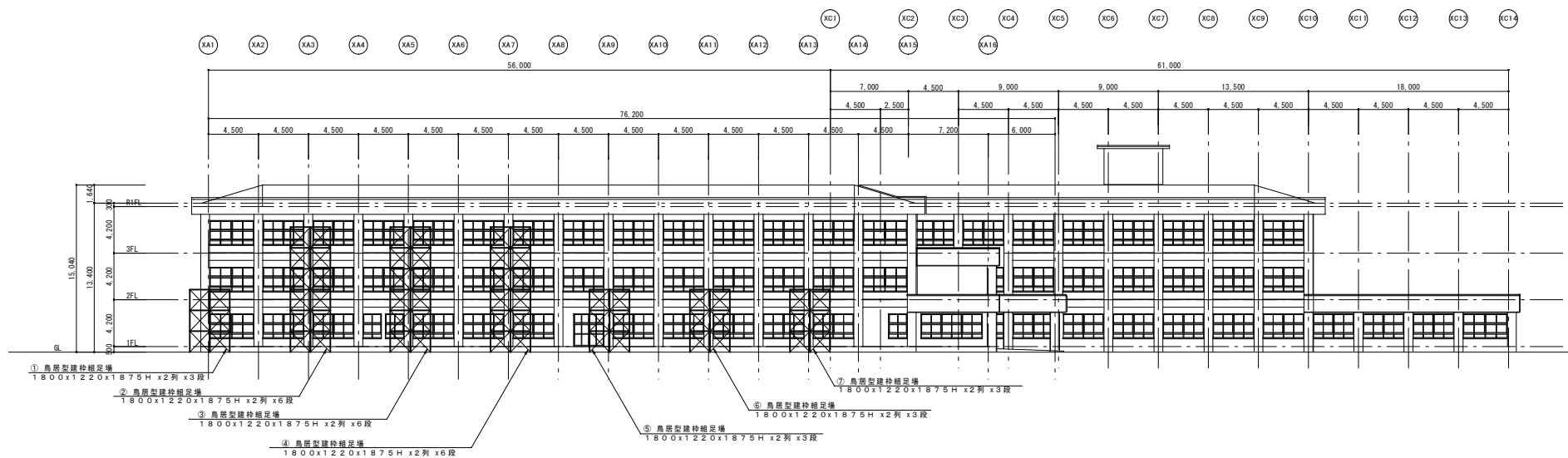
承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備) 参考  
天井改修 3階平面図

A1:1/200  
A3:1/400



北側立面図



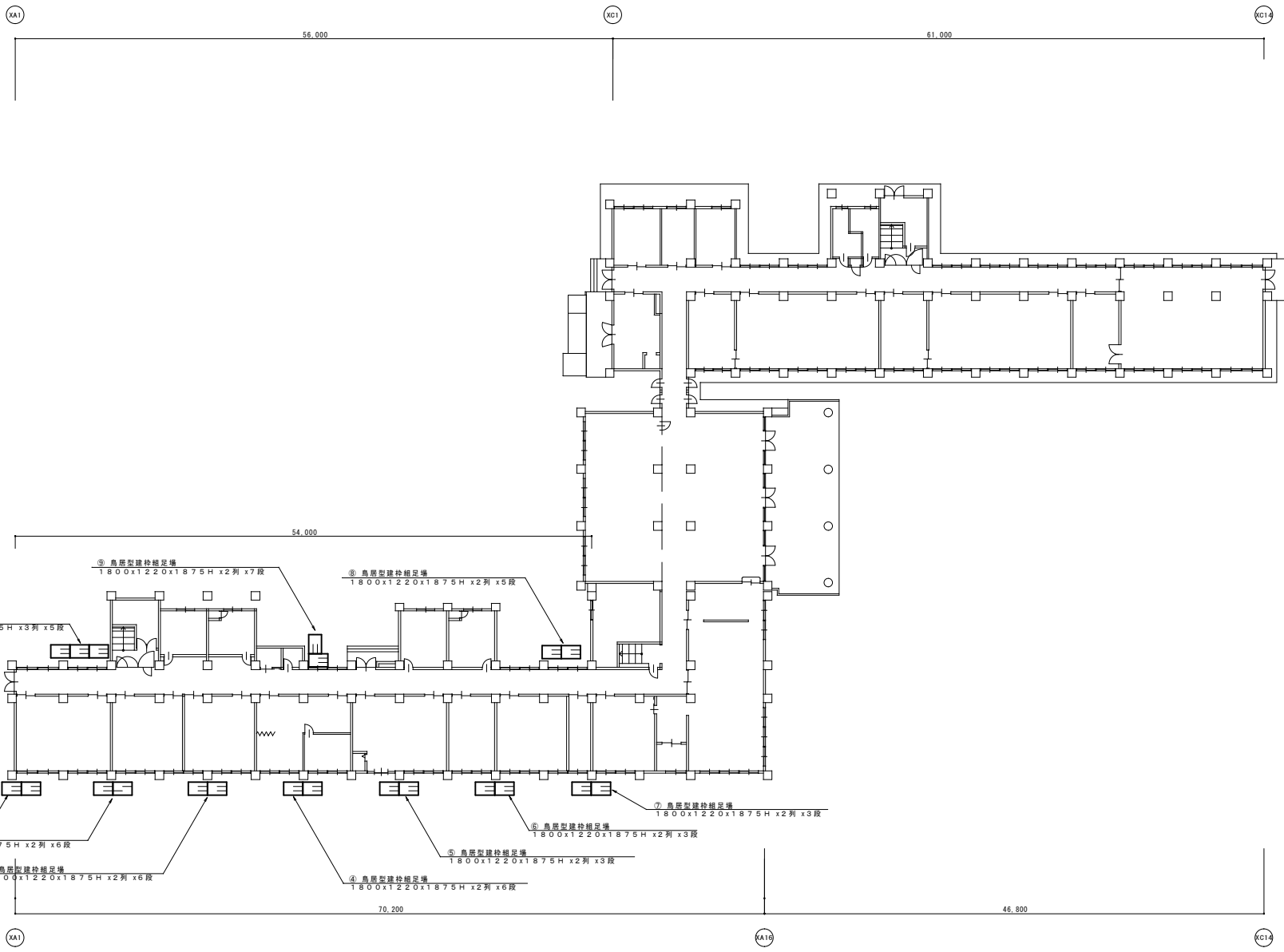
南側立面図

承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備) 参考  
仮設足場 立面図(参考図)

A1:1/100  
A3:1/200

M-19



平面図

承認	担当	製図

第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備) 参考  
仮設足場 平面図(参考図)

A1:1/200  
A3:1/400

M-20

百石中学校空調設備整備工事 電気設備改修工事特記仕様書					
Ⅰ. 工事概要					
1. 工事場所 上北郡おいらせ町東下谷地116 (百石中学校)					
2. 建物概要					
建物名称	構造	階数	建築基準法上の延面積(㎡)	消防法施行令別表第1の区分	備考
中学校	RC造	3階			

3. 工事種目 (●印の付いたものを適用する。)			
	工 事 種 目	屋 外	備 考
○電灯設備			
●動力設備	改設一式		
○電気自動車充電設備			
○電機設備			
○雷保護設備			
○受変電設備			
○電力貯蔵設備			
○発電設備			
○構内情報通信設備			
○構内交換設備			
○情報表示設備			
○映像・音響設備			
○拡声設備			
○誘導支援設備			
○テレビ共同受信設備			
○監視カメラ設備			
○駐車場管理設備			
○防犯・入退室管理設備			
○火災検知設備			
○中央監視制御設備			
●構内配電回路		改設一式	
○構内通信回路			
○			
○			

4. 指定部分 ●なし  
○あり 範囲: 工期:令和 年 月 日

## Ⅱ. 工事仕様

- 共通仕様
  - 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁管理官庁管理制定の下記仕様書のうち、●印が付いたものを適用する。
    - 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和 4 年版）（以下「標準仕様」という。）
    - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和 4 年版）（以下「改修標準仕様」という。）
    - 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和 4 年版）（以下「標準図」という。）
  - 機械設備工事を本工事に含む場合は、機械設備工事は機械設備工部の特記仕様書を適用する。なお、機械設備工部の特記仕様書は（ / ）図による。
  - 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、納期の見直し等がある場合協議すること。
- 特記仕様

項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

章	項目	特 記 事 項
一般	○適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の事定には次の条件を用いる。 <ul style="list-style-type: none"><li>○風圧力           <ul style="list-style-type: none"><li>風速（V<sub>0</sub>= ）</li> <li>地表面粗度区分（ ）</li></ul> </li> <li>○積雪荷重           <ul style="list-style-type: none"><li>建設省告示第1455号における区域別表（ ）</li></ul> </li></ul>
	●電気工作保安規程	東北地方整備局制定の営繕工事事業用電気工作保安規程を適用する。
	●電気工士	最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工士により施工を行う。
	●機材の品質等	（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常すべき品質及び性能を有するものとする。
		（2）下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出し監督職員の承認を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承認を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。

- 品質及び性能に関する試験データを整理していること。
- 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
- 安定的な供給が可能であること。
- 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
- 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機 材 名	製造業者等名
LED照明器具（一般量用内蔵型）	
照明制御装置	
可変速駆動用インバータ装置	
分電盤	
制御盤	
キュービクル式配電盤	
高圧スイッチギア（O形）	
高圧スイッチギア（P形）	
高圧交流遮断器	
高圧変圧器（特定機器）	
高圧送電コンデンサ	
高圧限流ヒューズ	
高圧負荷開閉器	
交流無停電電源装置	
太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）	
監視カメラ装置	
中央監視制御（監視制御装置）	

（1）本工において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和2年2月閣議決定）」に定める特定調達品目（公共工事）の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

- 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
- 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有率が少ない材料を使用する。
- 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジメチル及びフタル酸ジエチルベンキル等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
- ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

（3）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

- 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
- 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
- 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
- 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。（機械設備図面参照）

（1）施設の耐震安全性の分類 ●特定の施設 ○一般の施設  
（2）設備機器の固定は、施設の耐震安全性の分類に応じて次による他、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。

①設計用水平地震力  
 機器の重量〔kN〕に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。  
 なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。

設計用標準水平震度	機器種別	●特定の施設 ○一般の施設			
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	揚機	2.0	1.5	1.5	1.0
	防水支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
上層階及び塔屋	水循環機	2.0	1.5	1.5	1.0
	揚機	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防水支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水循環機	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階及び塔屋	揚機	1.0	0.6	0.6	0.4
	防水支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
地階・1階	揚機	1.0	0.6	0.6	0.4
	水循環機	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。  
 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。  
 ・水循環機とは熱源出水機を含む。  
 ・重要機器は次のものを示す。

- 配電盤 ○発電装置（防災用） ○直流電源装置
- 交流無停電電源装置 ○交換機 ○自動火災報知受信機
- 中央監視制御 ○受変電設備 ○

②設計用鉛直地震力  
 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

（3）横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。

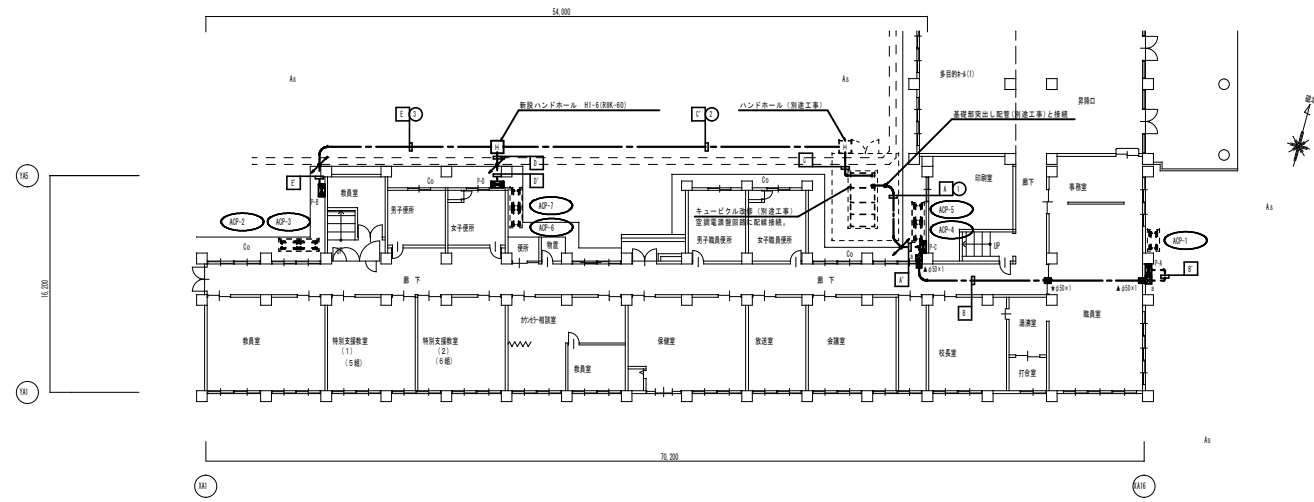
○7ｽﾍﾞﾙ含有製品調査	イ) 撤去機器、器具等についてアスベスト含有製品調査を行い、監督職員に報告する。 調査範囲（ ○ ） 調査方法（ ○型番確認の上、製造者へリク） ○ ） ロ) 上記のアスベスト含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプリング数は監督職員と協議する。 なお、調査にかかる費用は、 ○ 本工事 ○ 別途 とする。 ○特記仕様による。 ○足場その他 ○ 両隣りの関係受注者が設置したものは無償で使用できる。 ○ 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の確立工程に関する基準」における(1)の手すり設置方式又は(3)の手すり先行専用足場方式により行う。 ○ 内部足場 種別 ○ 脚立、足場板等 ○ 種別 ○ A 種 ○ B 種 ○ C 種 ○ D 種 ○ E 種 防衛シート ○ 設置する。 ○ 設置しない。 ○材料、撤去材等の運搬方法（建築工事編2.2.1 表2.2.2による。） 種別 ○ A 種 ○ B 種 ○ C 種 ○ D 種 ○ E 種 ○仮設置切切り 種別 ○ A 種 ○ B 種 ○ C 種 ○既設部分の養生 ○行方（ ○ ニールシート等 ○ ） ○行わない 50 H Z はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。 イ) 放射線透過検査等による埋設物の調査 ロ) 範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。 イ) あと施工アンカー 接着系アンカー（ 接着剤（有機系） 金属低張力アンカー（ 本体打込み式 ） 性能確認試験 ●行方 ○行わない 施工後確認試験 ●行方 ○行わない 機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は既存仕上げと同等の補修とする。 施工に際し既存設備、施設等に損害を及ぼした場合は、原状に復旧する。 イ) 屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（SUS304）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 ○下記種類の改修等は、製造者等による作業とする。 ○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ 受変電設備 ○ 電力貯蔵設備 ○ 設備の改修前と改修後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。 ○ 設備の工事完了後に、単独確認図の更新を行う。 各機器の個別運転後下記に下記の設備について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。 ○ 照明制御装置 ○ 受変電設備 ○ 電力貯蔵設備 ○ 発電設備 ○ 駐車場管理設備 ○ 防犯・入退室管理設備 ○ 中央監視制御設備 ○ 新設する電線類は、図面に「EM-○」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。 屋外、及び地下ピットで使用する厚膜電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき（めっき付着量300g/㎡以上）」仕上げとする。 合成樹脂製可とう管はPＦ管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承認を受けて、変更してもさしつかえない。 床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。 ○金属製（ステンレス、新金属を含む） ○樹脂製 ○アルミ製 ○銅合金属 水平調整プレート（圧縮防止リング付）とする。 図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。 ○ 居室 ○ 屋 外 ○ ○ ○ ○ 機器取付高さ ○ 図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。 受注者は、受注者又は下請負人に対して暴力団又は暴力団関係者による不当介入があった場合は、警察及び受注者へ通報・報告しなければならない。
○仮設工事	
○電源周波数	●はつり
○非破壊検査	
○あと施工アンカー	
○撤去部の補修	
○既存施設等の復旧	
○支持金物	・固定金具
○既存壁の改修	
○総合動作試験	
○電線・ケーブル	
○厚膜電線管	
○合成樹脂製可とう管	
○電線本数、管路など	
○インサート	
○フラッシュプレート	
○フロアプレート	
○接地極の種類及び位置表示	
○塗装	
○機器取付高さ	
○暴力団又は暴力団関係者による不当介入に対する通報・報告の義務	

○タンブラースイッチ	ネーム付きとする。
○○フロア用配線器具の重	○アルミ製 ○樹脂製
○ﾊｰｽﾞｼｮｯﾄ用0Aｶｯﾌﾟ	特記の無いﾊｰｽﾞｼｮｯﾄ用0Aｶｯﾌﾟは次の仕様とする。 2P15A（接地極径抜き形）×4コ×3m（ｼﾞｬｯｸﾀｲﾌﾟ）通電表示灯付
○人感センサー用プレート	照明の人感センサー制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。 材質：アクリル 文字：印刷文字 寸法：W=100mm程度 H=50mm程度 参考文例：「人の動きを感知して点灯します。一定時間動作がなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」 注意プレート設置： ○ 便 所（計 枚） ○（計 枚） 天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンレールの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。 ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。 LED照明器具の制御装置配管が特記されていないものは「一般形（L N）」とする。 一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。 ○明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上 ○明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計 箇所以上 非常用の照明装置の照度測定箇所は工事全体で計 箇所以上とし、監督職員に報告する。 ○分電盤 ○分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P1E、200V2P2E）とする。 ○連立分岐分岐からの上り立予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合（P F 2 2）を1本、5個以上の場合（P F 2 2）を2本、天井まで立上げる。 ○制御盤 配管バンドとなる負荷には接地端子を設けない。

表1「接地極一覧表」  
 接地極の種類は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、管径機器及び屋外灯用接地極の設置数は不要とする。

接地極の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
○電線用接地極	EB <sub>1</sub>	0.2Ω以下	EB <sub>1</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○共用接地極	EB <sub>2</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>2</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○共用接地極	EB <sub>3</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>3</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○A 種接地極	EB <sub>4</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>4</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○B 種接地極	EB <sub>5</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>5</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○C 種接地極	EB <sub>6</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>6</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○D 種接地極	EB <sub>7</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>7</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○遮断器用接地極	EB <sub>8</sub>	5.0Ω以下	EB <sub>8</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○構内交換機（制御用）	EB <sub>9</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>9</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○本館機器の保安装置	EB <sub>10</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>10</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○電気設備の保安装置	EB <sub>11</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>11</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>12</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>12</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>13</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>13</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>14</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>14</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>15</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>15</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>16</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>16</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>17</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>17</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>18</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>18</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>19</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>19</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>20</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>20</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>21</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>21</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>22</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>22</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>23</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>23</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>24</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>24</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>25</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>25</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>26</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>26</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>27</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>27</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>28</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>28</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>29</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>29</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>30</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>30</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>31</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>31</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>32</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>32</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>33</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>33</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>34</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>34</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>35</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>35</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>36</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>36</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>37</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>37</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>38</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>38</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>39</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>39</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>40</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>40</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>41</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>41</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>42</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>42</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>43</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>43</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>44</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>44</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>45</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>45</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>46</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>46</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>47</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>47</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>48</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>48</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>49</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>49</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>50</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>50</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>51</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>51</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>52</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>52</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>53</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>53</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>54</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>54</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>55</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>55</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>56</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>56</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>57</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>57</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>58</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>58</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>59</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>59</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>60</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>60</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>61</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>61</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>62</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>62</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>63</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>63</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>64</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>64</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>65</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>65</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>66</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>66</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>67</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>67</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>68</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>68</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>69</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>69</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>70</sub>	1.0Ω以下	EB <sub>70</sub> D=1.4又はW=4.0×3連一組
○防犯・入退室管理設備	EB <sub>71</sub>	1.0Ω以下	EB <sub></sub>



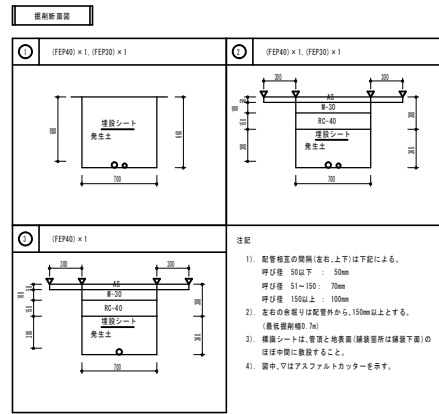


1 階平面図 S=1/200

凡 例		
記 号	名 称・仕 様	備 考
	動力電源盤	別図給線図参照
	ブルーボックス	ブルーボックスリスト参照
	ハンドホール	
	非常通報機 サイズは指示による。	各部の直通は避け、線路を切斷しない様 留意すること。
	防火区画直通通報機 サイズは指示による。	
	集中配管立上部	配線リスト参照
	基礎 (Ca) 部は基礎と鉄骨出配管	

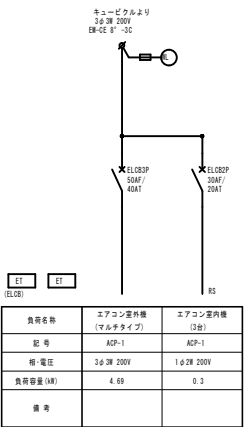
ブルーボックスリスト	
<input checked="" type="checkbox"/> a : 200×200×200 (NP, SUS)	B-3000

配線リスト (接地線はキュービクルの接地端子に接続とする。)			
<b>E</b>	EH-CE 8" -3C E2, D×2	(FEP20)	P-A
<b>E</b>	EH-CE 22" -3C E3" ×2.0	(FEP40)	P-C
立上部分1管保護 : (G2RLT), (G2RLT)			
<b>E</b>	EH-CE 8" -3C E2, D×2	(G2B)	P-A
<b>E</b>	EH-CE 22" -3C E3" ×2.0	(G2B)	P-C
<b>E</b>	EH-CE 8" -3C E2, D×2	(実寸ころりし)	P-A
<b>E</b>	EH-CE 8" -3C E2, D×2	(G2B)	P-A
<b>E</b>	EH-CE 22" -3C E3" ×2.0	(FEP管内) 照	P-B
<b>E</b>	EH-CE 14" -3C	(FEP管内) 照	P-B
※配管は別途工事、ケーブル通線は本工事。			
<b>E</b>	EH-CE 22" -3C E3" ×2.0	(FEP40)	P-B
<b>E</b>	EH-CE 14" -3C	(FEP20)	P-D
<b>E</b>	EH-CE 14" -3C E3" ×2.0	(FEP30)	P-D
立上部分1管保護 : (G2RLT)			
<b>E</b>	EH-CE 14" -3C E3" ×2.0	(G2B)	P-D
<b>E</b>	EH-CE 22" -3C E3" ×2.0	(FEP40)	P-B
立上部分1管保護 : (G2RLT)			
<b>E</b>	EH-CE 22" -3C E3" ×2.0	(G2B)	P-B



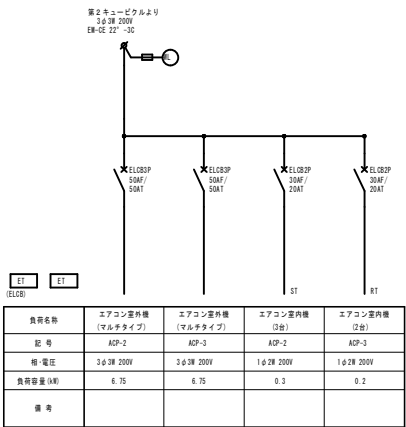
承認	担当	製図





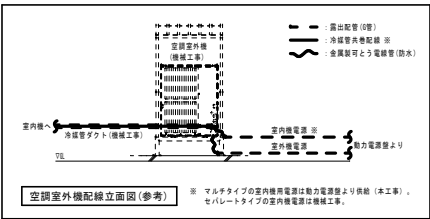
動力電源盤 P-A 結線図

屋外壁掛け型



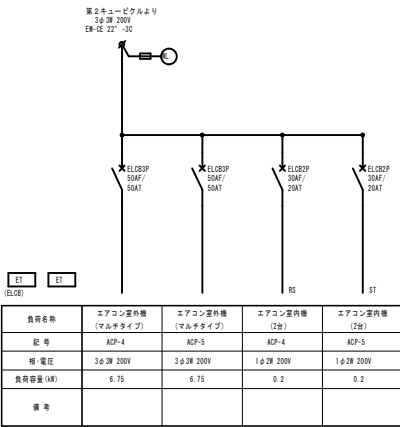
動力電源盤 P-B 結線図

屋外壁掛け型



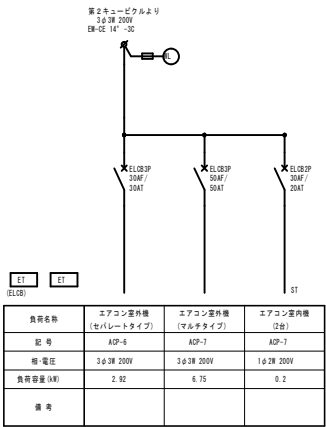
(注記)

1. 新設動力電源盤は屋外防水型、指定者仕上とする。
2. ブレーカおよび電気負荷容量は設計指定メーカー品を採用するため、  
機械工事機種との整合性を図り、機種を指定すること。
3. マルチタイプの室内機電源回路は1φ200Vとするし、負荷平衡を  
考慮した機種とすること。
4. 室内側に「冷媒管用回路」と記載すること。
5. 壁掛け取付に際し、既存の鉄筋を切断しない様に留意のこと。



動力電源盤 P-C 結線図

屋外壁掛け型



動力電源盤 P-D 結線図

屋外壁掛け型

承認	担当	製図

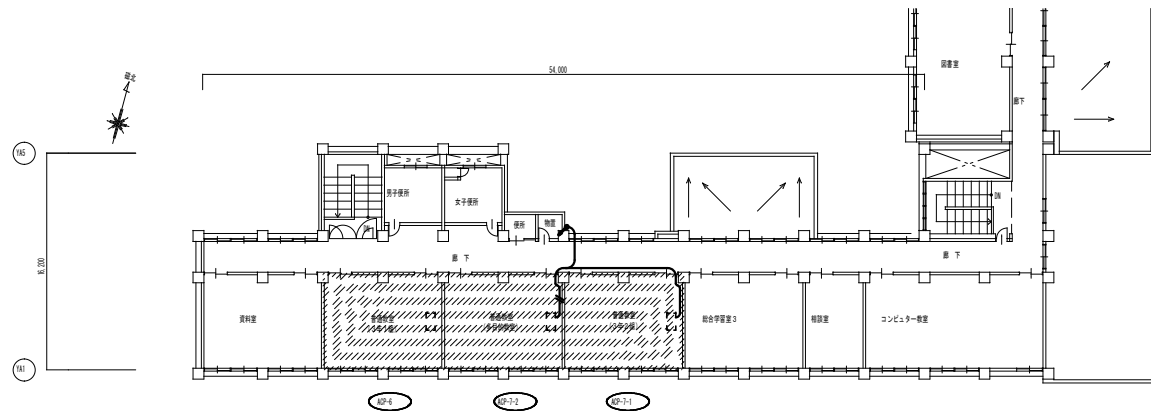
第23号 百石中学校空調設備整備工事(電気設備)

動力電源盤結線図

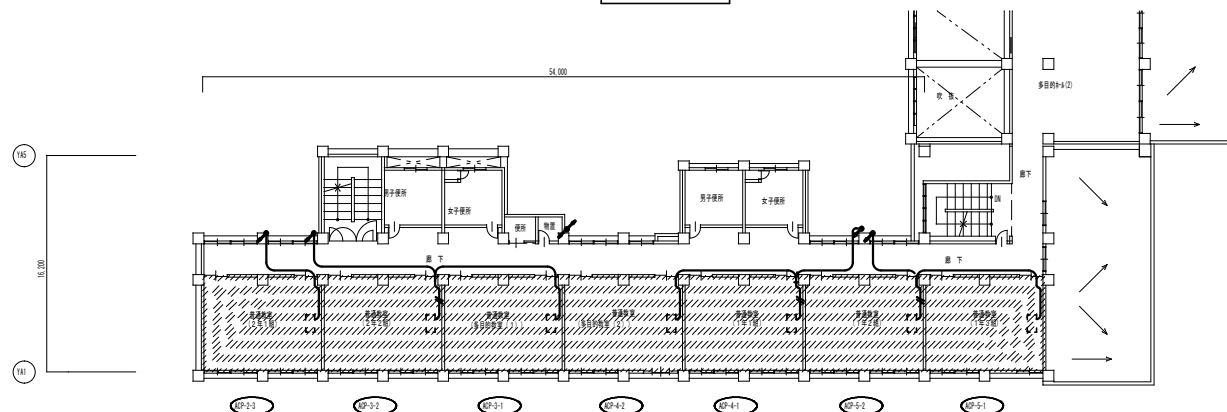
A1:NON

A3:NON

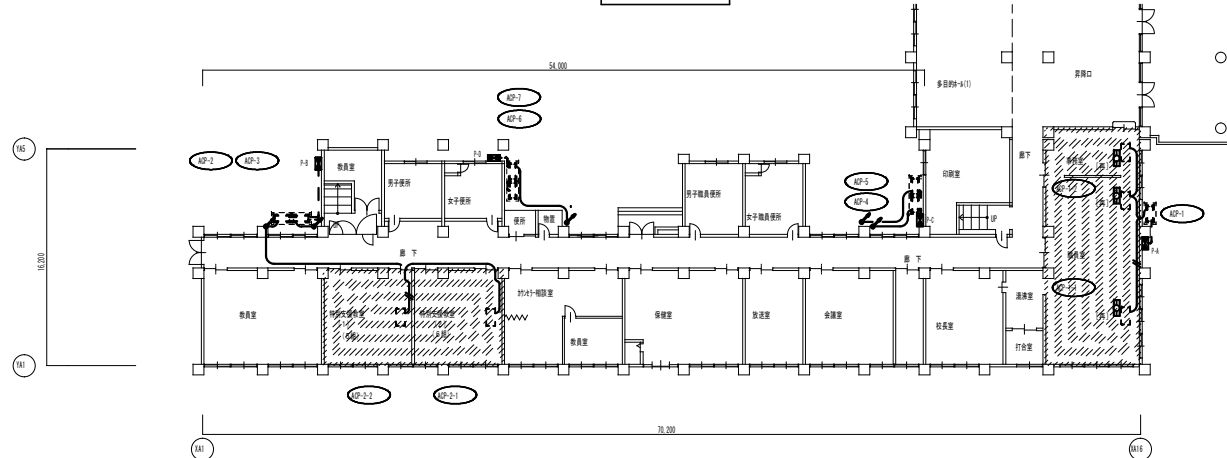
E-4



3階平面図 S=1/200



2階平面図 S=1/200



1階平面図 S=1/200

は、エアコン設置対象室を示す

承認	担当	製図

凡 例

記 号	名称・仕様	備 考
	動力電源	別図給線図参照
	空調室外機 (機械工事)	
	空調室内機 (機械工事)	マルチタイプの電源配線は本工事、セパレートタイプの電源配線は別途工事。
	露出配管	配線リスト参照
	冷媒管共有配線	配線リスト参照
	リモコンスイッチボックス (4回路)	空調機リモコン用 約1500
	露出コンセント 取付し・露出付	リモコンスイッチボックス (露出) 取付のうえ コンセントを露出付 (約300)
	露出露出付 凡40mm×2 (天井直付)	天井取付し・露出範囲に 干渉する器具

特記な配管配線は下記による。		備 考
	冷媒管 (冷媒管)	室内機電源 (マルチタイプ)
	冷媒管 (冷媒管)	室内機電源 (マルチタイプ)

配線リスト

目	室	機器名称	電気容量	配 線	保護管	備 考
P-A	KP-1	パッケージエアコン (マルチタイプ)	3.0/3000V 4.0 kW 1.0/3000V 0.3 kW	冷媒管 5' - 3C E2.0 冷媒管 5' - 3C	(E2.0) ~ (F2-300P) (E2.0) ~ (F2-240P)	
P-B	KP-2	パッケージエアコン (マルチタイプ)	3.0/3000V 6.75 kW 1.0/3000V 0.3 kW	冷媒管 14' - 3C E2.0 冷媒管 5' - 3C	(E2.0) ~ (F2-300P) (E2.0) ~ (F2-240P)	
P-C	KP-3	パッケージエアコン (マルチタイプ)	3.0/3000V 6.75 kW 1.0/3000V 0.2 kW	冷媒管 14' - 3C E2.0 冷媒管 5' - 3C	(E2.0) ~ (F2-300P) (E2.0) ~ (F2-240P)	
P-D	KP-4	パッケージエアコン (マルチタイプ)	3.0/3000V 6.75 kW 1.0/3000V 0.3 kW	冷媒管 14' - 3C E2.0 冷媒管 5' - 3C	(E2.0) ~ (F2-300P) (E2.0) ~ (F2-240P)	
P-E	KP-5	パッケージエアコン (マルチタイプ)	3.0/3000V 6.75 kW 1.0/3000V 0.2 kW	冷媒管 14' - 3C E2.0 冷媒管 5' - 3C	(E2.0) ~ (F2-300P) (E2.0) ~ (F2-240P)	
P-F	KP-6	パッケージエアコン (セパレートタイプ)	3.0/3000V 2.0 kW	冷媒管 5' - 3C E2.0	(E2.0) ~ (F2-300P)	室内機の電源配線は 機械工事
P-G	KP-7	パッケージエアコン (マルチタイプ)	3.0/3000V 6.75 kW 1.0/3000V 0.3 kW	冷媒管 14' - 3C E2.0 冷媒管 5' - 3C	(E2.0) ~ (F2-300P) (E2.0) ~ (F2-240P)	

機器接続部は金属製可とう電線管を使用すること。

